

NEWS RELEASE

平成28年 8月 3日

お客様 各位

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

「とちぎ地域活性化ファンド」による出資について — 足利繊維産業復興への取組み —

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本淳之介）と株式会社とちぎんキャピタル（代表取締役 齋藤隆）が平成27年2月に設立した「とちぎ地域活性化ファンド（運営会社：株式会社とちぎんキャピタル）」（以下、本ファンドとする。）は、ガチャマンラボ株式会社（代表取締役 高橋仁里）（以下、同社とする。）に対する出資を決定しましたので、お知らせします。

繊維産業は足利市を代表する産業ですが、合成繊維の安価・大量生産スタイルの台頭や、それに伴う工場の海外移転等により、繊維産業の空洞化が進んでおります。

また各繊維工場においては、わずかな風合いや規格の違いでアパレルメーカーなどへ納品できなかった生地在庫が多く存在し、大きな負担となっております。

そのような中、同社は各工場の在庫生地を買い取り、パーカーやシャツ、ストールなどを地場で一貫生産し、自社オリジナル商品として売り出す『産直アパレル事業』を開始いたしました。

また、同社は、関東経済産業局の『絹のみち広域連携プロジェクト』に参画し、絹の日常使いをテーマとした絹製品ブランド『cilk（シルク）』を立ち上げ、足利市の礎を築いた絹織物「足利銘仙」の復刻・グローバル展開を進めており、同社の更なる発展が期待できます。

本件は、在庫生地の活用から商品の生産まで、地域の業者が連携することによって新たな利益が生まれる同社のビジネスモデルに成長が見込めると判断し、地域活性化を支援する本ファンドの運用趣旨と合致することから、今回出資を行い、産地の底上げを目指す同社の発展を支援するものであります。

本ファンドは、「とちぎん地域産業創生プログラム」（注1）の一環として設立したものであり、創業・新事業または将来成長が見込まれる地域企業に対し、「株式による出資」と併せ、栃木銀行グループの多様なネットワークを活用して企業の経営を全面的に支援する等、事業の持続的な成長発展・雇用の創出を目的としております。

（注1）平成27年2月に国の「まち・ひと・しごと創生法」にもとづく、地方創生、地域活性化の役割を担うため、地域産業の育成を目的に策定した当行独自のプログラムです。

NEWS RELEASE

【出資先概要】

出資先	ガチャマンラボ株式会社
代表者	代表取締役 高橋 仁里
本社所在地	栃木県足利市山川町 30-2
設立	平成 25 年 8 月
事業内容	繊維製品の製造、販売
出資日	平成 28 年 8 月 3 日

【ファンド概要】

名称	とちぎ地域活性化投資事業有限責任組合
ファンド総額	10億円
出資者	株式会社 栃木銀行 株式会社 とちぎんキャピタル
投資形態	株式による出資（普通株・種類株等）
投資対象	栃木銀行営業区域内で事業を営む未上場企業のうち、創業・新事業または将来成長が見込まれる企業等
運営会社	株式会社 とちぎんキャピタル

【ファンドスキーム図】

